

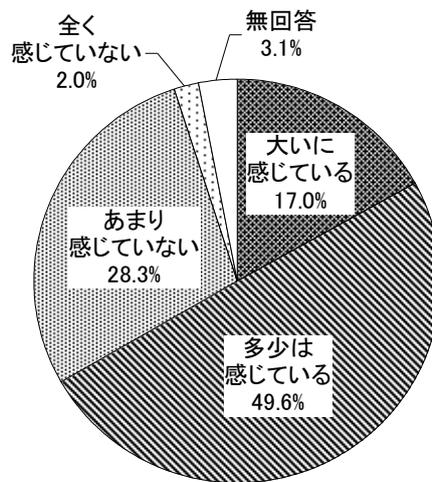
11 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安

問33 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。
次の中から1つ選んでください。

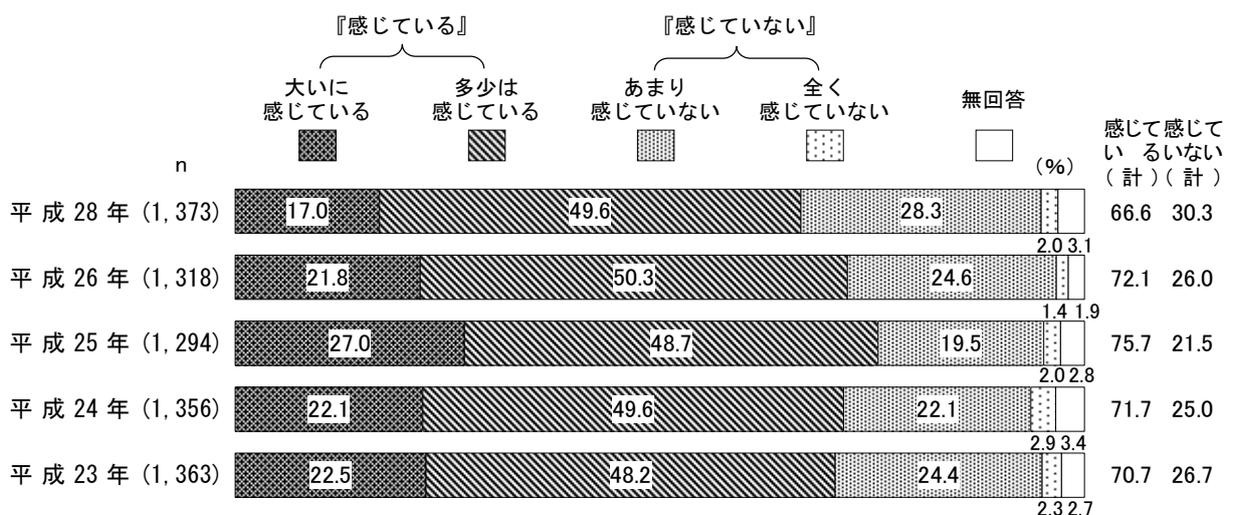
[n=1,373]

1 大いに感じている	17.0%	3 あまり感じていない	28.3%
2 多少は感じている	49.6%	4 全く感じていない	2.0%
		(無回答)	3.1%



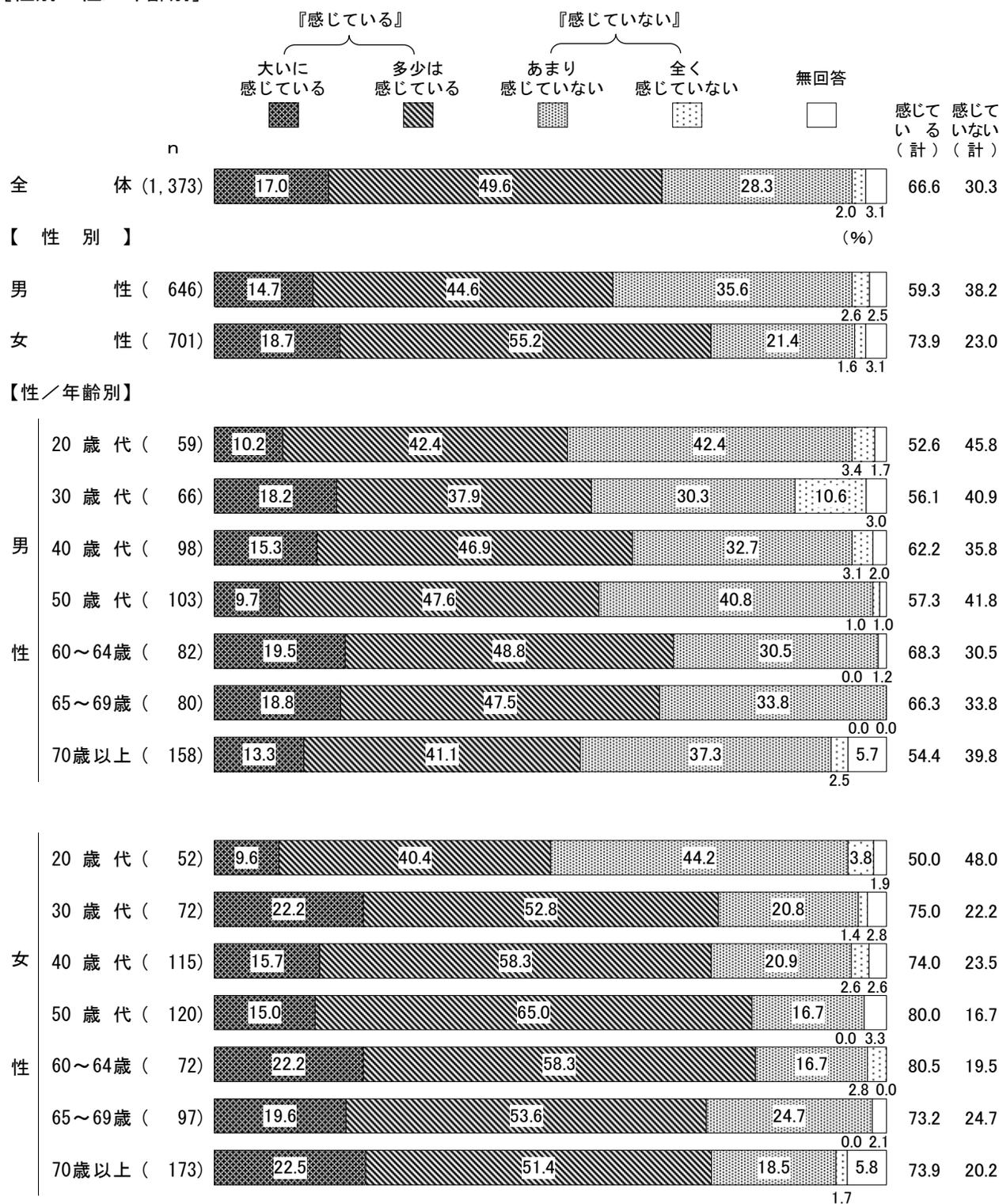
(n=1,373)

全体でみると、「大いに感じている」(17.0%)と「多少は感じている」(49.6%)の2つを合わせた『感じている』(66.6%)は7割近くと高くなっている。一方、「あまり感じていない」(28.3%)と「全く感じていない」(2.0%)の2つを合わせた『感じていない』(30.3%)は3割となっている。



過去の調査結果と比較すると、『感じている』が平成26年より5.5ポイント減少している。一方、『感じていない』が平成26年より4.3ポイント増加している。

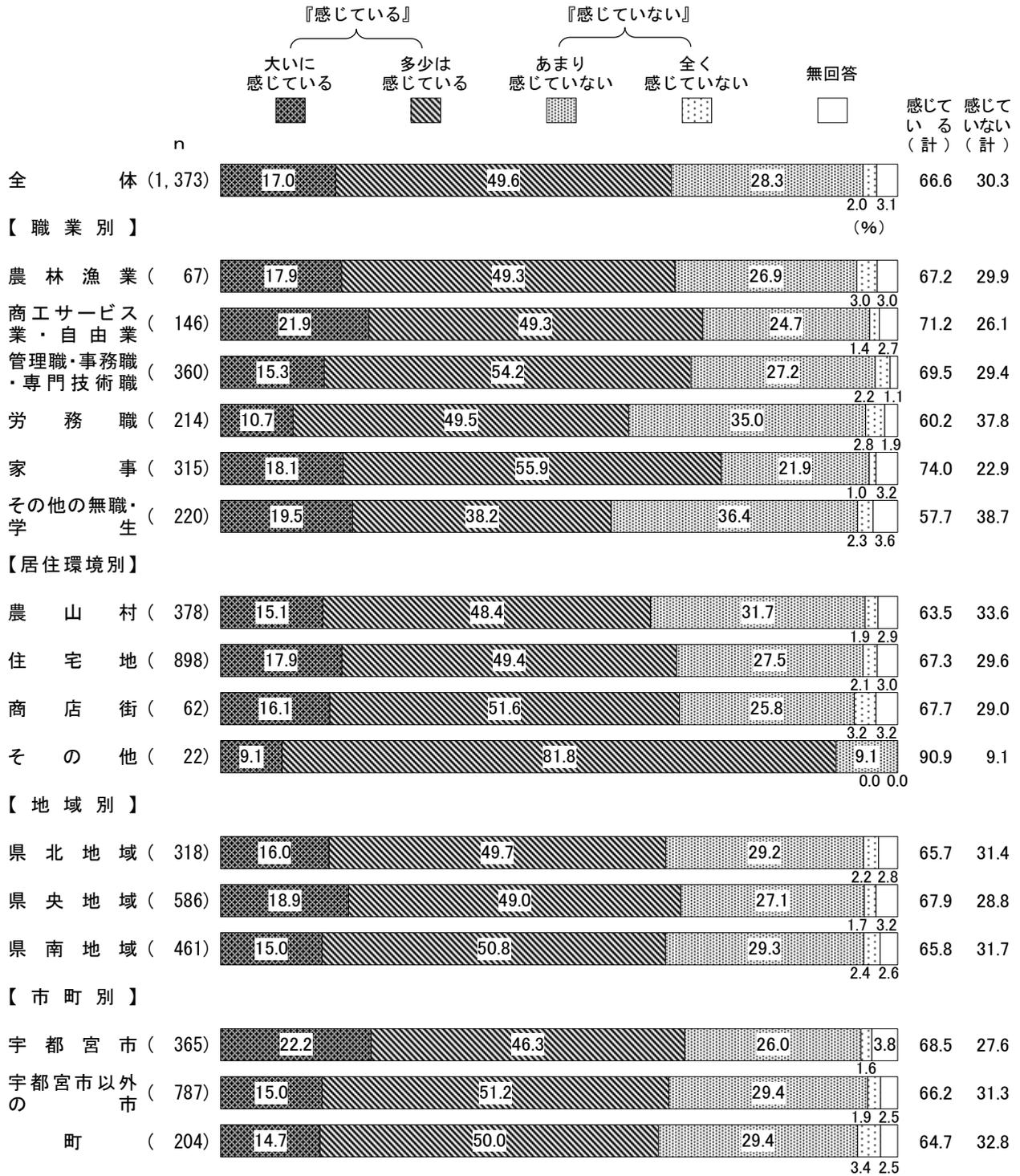
【性別・性／年齢別】



性別で見ると、『感じている』では〈女性〉(73.9%)が〈男性〉(59.3%)より14.6ポイント高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性〉(38.2%)が〈女性〉(23.0%)より15.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『感じている』では〈女性60~64歳〉が80.5%、〈女性50歳代〉が80.0%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈女性20歳代〉が48.0%、〈男性20歳代〉が45.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『感じている』では〈家事〉が74.0%、〈商工サービス業・自由業〉が71.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、『感じている』では〈商店街〉が67.7%、〈住宅地〉が67.3%となっており、〈農山村〉(63.5%)に比べて高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、『感じている』では〈宇都宮市〉が68.5%と高くなっている。

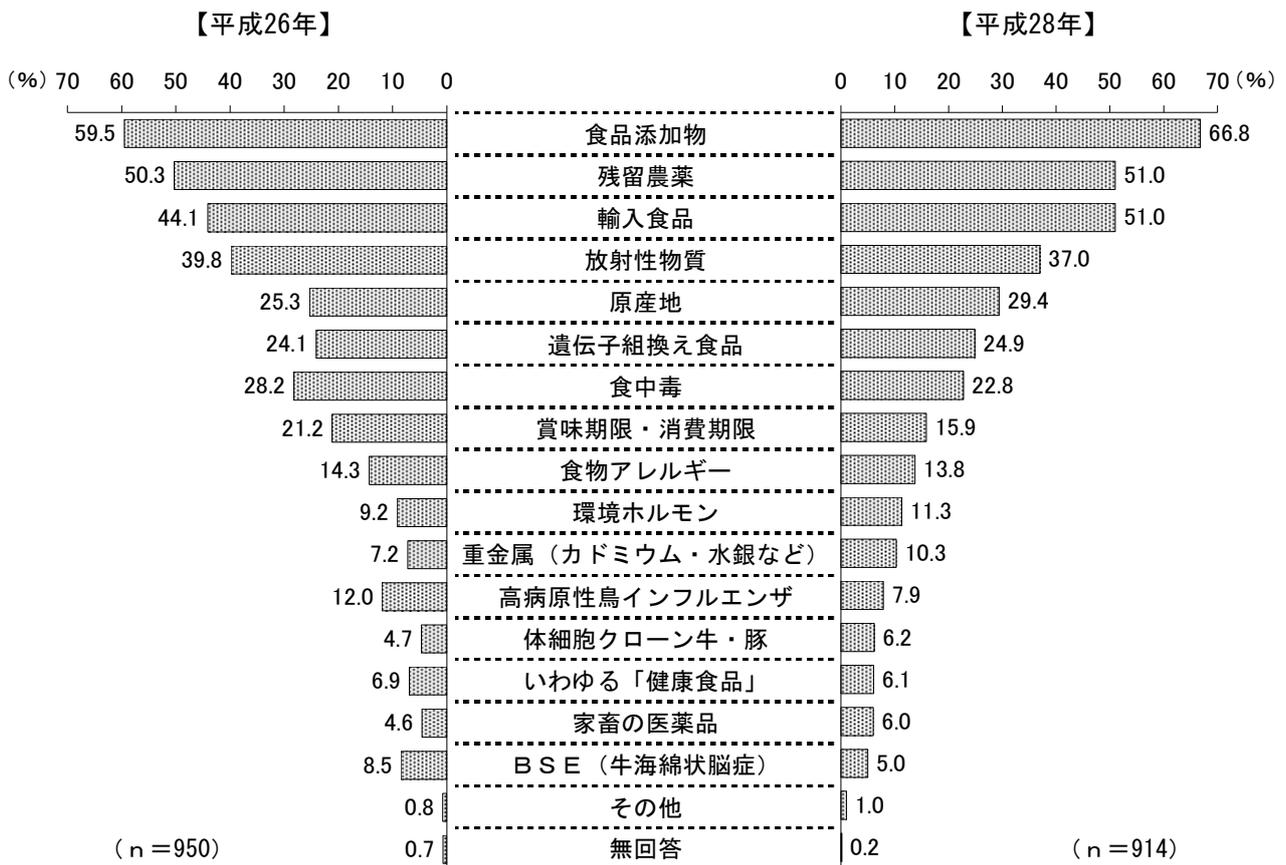
(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの

(問33で「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問33-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。
次の中から4つまで選んでください。

[n=914]

1	残留農薬	51.0%	10	重金属（カドミウム・水銀など）	10.3%
2	食品添加物	66.8	11	食中毒	22.8
3	環境ホルモン	11.3	12	いわゆる「健康食品」	6.1
4	遺伝子組換え食品	24.9	13	原産地	29.4
5	BSE（牛海綿状脳症）	5.0	14	輸入食品	51.0
6	高病原性鳥インフルエンザ	7.9	15	賞味期限・消費期限	15.9
7	体細胞クローン牛・豚	6.2	16	放射性物質	37.0
8	食物アレルギー	13.8	17	その他	1.0
9	家畜の医薬品	6.0		（無回答）	0.2

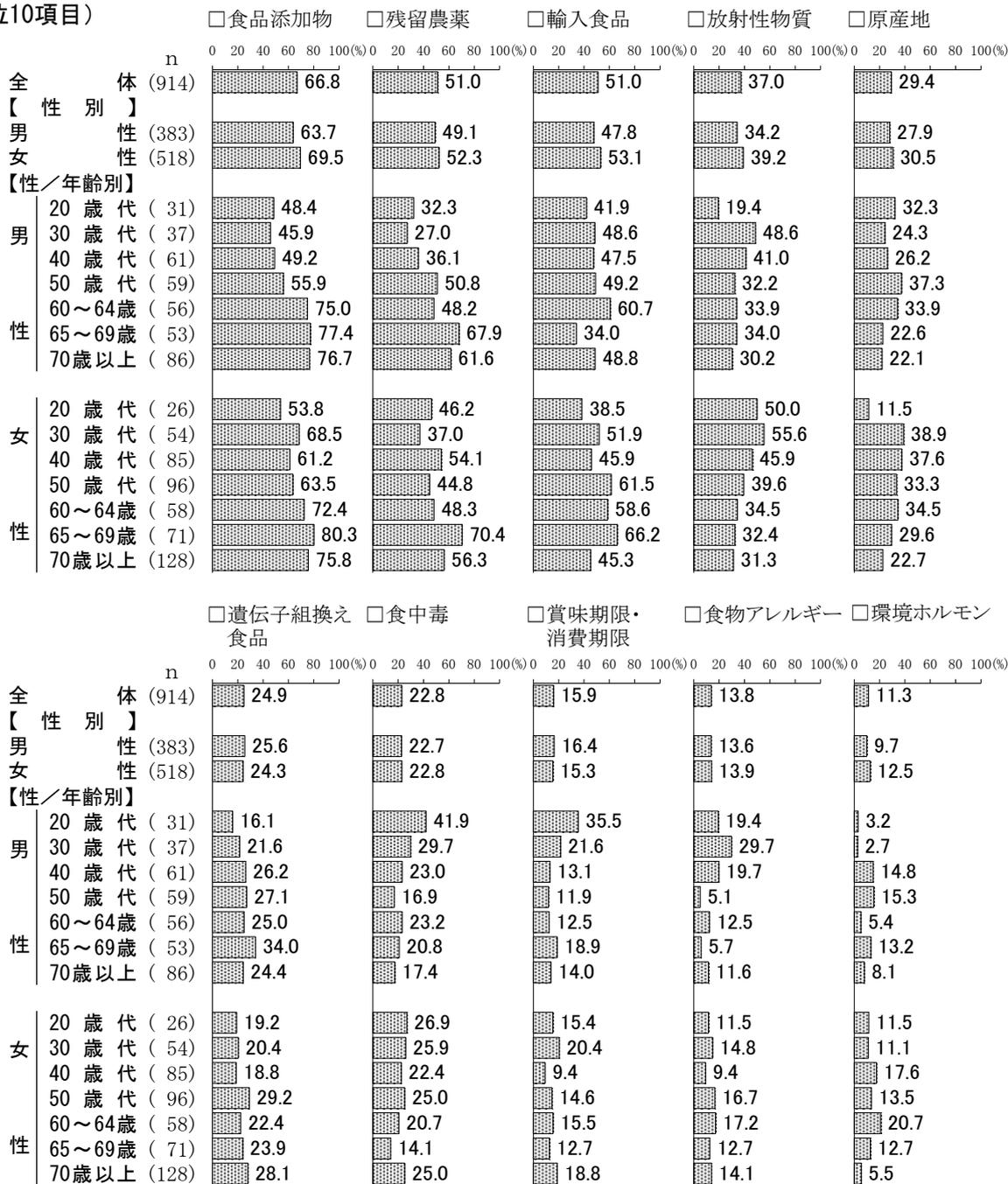


全体で見ると、「食品添加物」（66.8%）が7割近くで最も高く、次いで「残留農薬」（51.0%）、「輸入食品」（51.0%）、「放射性物質」（37.0%）、「原産地」（29.4%）の順となっている。

平成26年の調査結果と比較すると、「食品添加物」は7.3ポイント、「輸入食品」は6.9ポイント、「原産地」は4.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「食中毒」は5.4ポイント、「賞味期限・消費期限」は5.3ポイント、「高病原性鳥インフルエンザ」は4.1ポイント、それぞれ減少している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

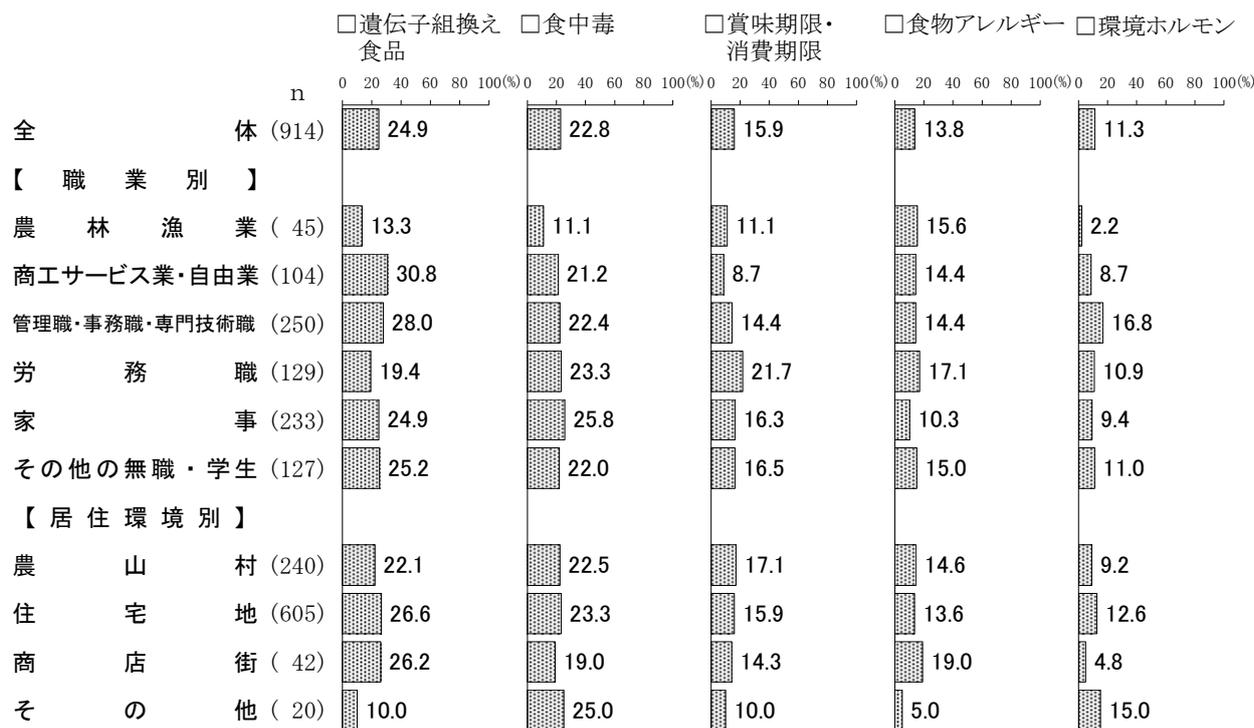
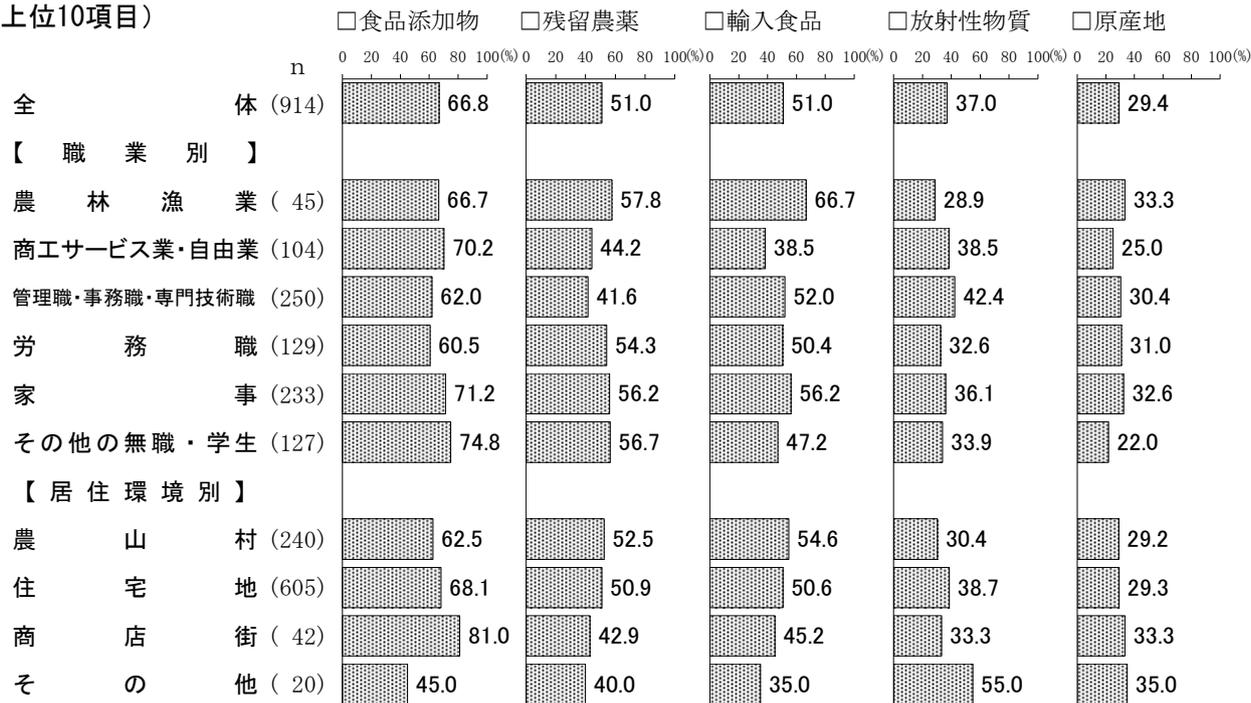


性別で見ると、「食品添加物」では〈女性〉(69.5%)が〈男性〉(63.7%)より5.8ポイント高くなっている。「輸入食品」では〈女性〉(53.1%)が〈男性〉(47.8%)より5.3ポイント高くなっている。「放射性物質」では〈女性〉(39.2%)が〈男性〉(34.2%)より5.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「食品添加物」では〈女性65~69歳〉が80.3%と高くなっている。「残留農薬」では〈女性65~69歳〉が70.4%と高くなっている。「輸入食品」では〈女性65~69歳〉が66.2%と高くなっている。「放射性物質」では〈女性30歳代〉が55.6%と高くなっている。「食中毒」では〈男性20歳代〉が41.9%と高くなっている。「賞味期限・消費期限」では〈男性20歳代〉が35.5%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「食品添加物」では〈その他の無職・学生〉が74.8%と高くなっている。「輸入食品」では〈農林漁業〉が66.7%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「食品添加物」では〈商店街〉が81.0%と高くなっている。「輸入食品」では〈農山村〉が54.6%と高くなっている。「放射性物質」では〈住宅地〉が38.7%と高くなっている。